

● 県民協働情報

「秋田を元気に」の想い
寄せられています

～「あきたスギッチファンド」が動き出す～



● 表紙をズーム

NPO 法人白神ネイチャー協会

● 企業の社会貢献活動

助成金を活用!「うたごえ喫茶 in 大館」

● 情報あらかると

地域ほっとにゅーす
たまごの杜



んすだすな

7
2009



「秋田え～どこ 100」に選定!

三十釜溪谷 (八峰町)

県北地域で「秋田え～どこ100」に選定された三十釜溪谷 (No.27)は白神山系を源流とする真瀬川が作り出した溪谷。新緑や紅葉の名所であり、溪流釣りの人も多い。※詳しくは4ページをご覧ください。

「秋田を元気に」の想い 寄せられています

～「あきたスギッチファンド」が動き出す～

市民だれもが多様化する地域課題の当事者になりうる現在、市民自らが支援者となり、地域課題解決をより活発に進める必要があります。そこで、特定非営利活動法人あきたスギッチファンドが、NPOや企業・行政の協働により平成21年4月に設立されました。その取り組みのひとつ「あきたスギッチファンド」について理事長の菅原展子さんに伺いました。

❁「あきたスギッチファンド」について

あきたスギッチファンドは、県民・企業・行政など社会全体でNPO活動を支えるため、寄付金等を集めて、地域課題解決を目指して活動する市民団体に資金を支援する仕組みです。

秋田を元気に、より豊かにするために、活発な市民活動が不可欠です。スギッチファンドは、市民団体を、力強く支える存在になりたいと考えております。みなさまのご支援をお願い申し上げます。

❁現在の会員数や寄付状況について

秋田の元気を応援したいという皆さんが会員や寄付者となって、輪がどんどんと広がっています。



会員数	団体会員	個人会員	特別会員
100	18団体	72名	10名

寄付件数	157件	寄付金合計	1,294,171円
団体	22団体		1,067,171円
個人	135名		227,000円

※団体にはNPOや企業を含む(平成21年7月6日現在)
団体の大口寄付として、東邦技術株式会社40万円、秋田人変身力会議36万余円があり、6月16日に寄付金贈呈式を施行しました。



❁協働の取り組みによる成果や課題について

当法人は、県と協働し、全県のNPOや企業が1年以上の学習と準備を重ねて立ち上げました。当初から様々なセクターが係わることで、県民全体でこのファンドを育てようという意識が醸成されたと考えます。これが将来に向かって、ファンドを発展させることにつながると確信しております。



寄付金贈呈式では秋田人変身力会議の荒谷紘毅会長(右)が菅原理事長(左)に目録を手渡しました

❁ 今後の取り組みについて

現在、県からの補助金300万円を原資に、第1回目の助成金の交付に向けて作業を進めております。

この後、来年2月に第2回目の助成を実施したいと考えております。この原資には、当法人に寄せられた寄付金を充てます。会員、寄付金のより一層の増加が必要です。

あきたスギッチファンドを大きく育てていくために、広く県民・企業・行政に支援を呼びかけて参ります。

特定非営利活動法人

あきたスギッチファンド

☎TEL.018-839-8941



企業からの支援

「TOHO子育て安心ファンド」

あきたスギッチファンドの今年度第1回目の助成コースに「TOHO子育て安心ファンド」がありました。寄付者の意思を反映させ名称等を冠した「冠ファンド」への寄付者、第1号となった東邦技術株式会社は大仙市に本社を置き、総合建設コンサルタントとして地質調査を含めた各種調査から、測量、設計、補償まで、東北全域の公共事業を手掛けています。代表取締役社長の石塚三雄さんに伺いました。

❁ 「あきたスギッチファンド」に寄付された経緯について

当社は、顧客も社員も地域内の地場企業です。直接のお客様は、国や県、市町村の建設部あるいは農政部などですが、最終的に当社の成果（道路や河川構造物など）を利用し、またその費用を負担するのは、国民・県

民の方々です。その国民・県民の方々に対し、わずかではありますが利益を還元していくことは、地場の企業の責務です。と同時に、地域の発展なくして、当社の存続はあり得ません。地域の発展に少しでも貢献できればと考えたからです。

❁ 子育て支援の活動をテーマにした理由

総務省統計局のデータによれば、平成20年10月1日時点での都道府県別人口に占める子どもの割合は、沖縄が全国1位で、秋田は東京を下回り最下位でした。どの県も経済的には低迷している中でこのような差があることを知り、少しでも秋田県の未来が明るくなればと、今回の寄付のテーマに決めました。

秋田県の経済的地位、また、人口の減少と限界集落の問題を考えると、これまで大人たちが作り上げてきた働き方の仕組みや仕事の仕方など見直していかなければならないかもしれません。子どもが減ってきたのも、私たちの選択と行動の結果です。これから経済と人口の成長を望むのであれば、口先の政策ではなく、資産の世代間移転も含め、各々の利害を超えた行動が必須でしょう。これからの社会について自分たちでしっかり考え、行動していくことだと考えています。

❁ 日頃より心がけていること、社会貢献活動として取り組まれていることについて

平成15年から毎年、雄物川と丸子川などの河川や大曲バイパスの地下歩道のクリーンアップ、不法投棄の撤去を行っています。心がけていることは、寄付やボランティアだけではなく、まずは仕事の中で、地域を守ること、産業を守ること、その延長線で一助になりたいと考えています。



大曲バイパスの地下歩道(5ヶ所)の清掃を偶数月に実施



雄物川などのクリーンアップを行っています

「秋田え〜どご100」に選ばれた「三十釜溪谷」(No.27)周辺で活動している「特定非営利活動法人白神ネイチャー協会」をご紹介します。

白神山地周辺のブナの森づくり活動を継続

特定非営利活動法人白神ネイチャー協会は、世界遺産に登録された白神山地周辺においてブナの森づくりを行って10年目を迎えます。白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場の再生につなげる活動は、河川流域全体の保全につながります。「海の森・山の森、二ツ森づくり」を山―川―海のサイクルと考え、自然の再生を目指しています。代表の工藤英美さんに伺いました。

「三十釜溪谷」の魅力について

三十釜溪谷は八峰町八森地区のほぼ中央を流れる真瀬川中・下流にあり、安山岩などの岩体が浸食されてできた溪谷です。両岸は急崖となっていて、カエデ等の樹木が岩肌にしがみつくように点在しています。秋になると、しぶきを上げて流下する真瀬川の流れ、両岸に立ち並ぶ黒っぽい岩肌、それにカエデの紅葉が映えて見事な景観を呈します。また、サケの遡上する頃になると、産卵の様子を清瀬橋から観察することができます。

活動にあたり心がけていること

溪谷の周辺の遊歩道には多種多様の草木が生育し



サケのつか取りみならぬ「サケのつかみ放し」(上)ブナ植樹に汗を流す(左)

ていて、人々の目を楽しませてくれていますが、心ない人がつい採取してしまわないよう呼びかけています。また、近くにある「森林科学館」には月ごとの花等の写真を展示しており、学習できるようにしてあります。科学館には説明員がいますので、気軽に声をかけると詳しい話が聞けます。

今後の取り組みについて

溪谷の下流域にはこいしからなる河床が広がっており、この場所を活用して川の昆虫観察会を計画しています。また、周囲の植物の観察会、児童対象に開催する予定です。また、児童対象に実施してきた、溪谷周囲の植物の観察会をさらに充実していきたいと考えています。また、要請があればガイドの斡旋をしています。八峰町白神ガイドの会では、三十釜で学習観察する内容をさらに深めるための研修を企画しています。

特定非営利活動法人
白神ネイチャー協会

◎事務局 TEL.0185-70-4211

(ぶなっこランド内 白神ふれあい館)

<http://www.shirakami.or.jp/~asna/>

ブナの森づくりをしよう！

10周年記念ブナ植樹ボランティア

10月4日(日)開催

全国の植樹ボランティアと「山の森づくり」を進め、自然環境を大切にする事の普及啓発に努めています。参加希望の方は事務局までご連絡ください。

伝統工芸品から学ぶ

先人の知恵と精神をこれからも継いでいこうと「温故知新」を座右の銘にかがける有限会社栗久(くりきゅう)代表の伝統工芸士栗盛俊二さんは、若い頃に先代の父親が病にたおれ、困っている時に、地域の沢山の人に支えていただいた経験から、人と人とのつながりと地域を大事にしながら大館市の伝統工芸品「大館曲げわっぱ」を通して地域文化の振興と継承に努めています。

その取組の一つに栗久では約20年前から、地元の誇れる伝統工芸品の良さを知ってもらうため、年間数校の小学校の工房の見学受け入れと中学校への講師派遣を行っています。栗盛さんは「子ども達に曲げわっぱの良さを知ってもらうのはもちろんですが、一つの製品が何度も失敗と努力と研究を重ねながら忍耐力によって完成していく過程から、使い捨て時代の中で物を大切に作る心と人生も自己の研鑽とねばり強い努力を積み重ねれば明るい未来が開けることを感じて欲しい」と取り組んでいます。



一方で、曲げわっぱの素材となる天然秋田杉は年々減少してきており、このままでは枯渇してしまうことから、加盟している大館曲ワッパ共同組合と共に東北森林管理局の協力と指導のもとに約8,000本の高齢の人工杉からなる「曲げわっぱの森」を設置し、資源の確保と育成に取り組み伝統産業の保護を図っています。「色々な食品・産地偽装が発覚するなか、誇りを持って大館曲げわっぱを仕上げ、全国に大館の特産品と大館をPRしていきたい」と語りました。

有限会社 栗久

☎ TEL.0186-42-0514

助成金を活用!「うたごえ喫茶イン大館」

歌でつながる

皆さんは“うたごえ喫茶”をご存知でしょうか?主に飲食店などでアコーディオン、ピアノなどの伴奏により、司会者のリードで参加者がともに歌を歌い合う場で昭和30年代に流行し、現在は「新宿ともしび」を中心に再び全国へ広がっています。歌声喫茶は人間同士のふれあいが一体感を生み、連帯が広がり深まり、歌う楽しさが心身の健康につながります。

今回、「歌声喫茶」のこの意気を感じてほしいと、昨年より「ワンディシェフの店(大館市)」で週1回程度、歌声喫茶を行っているメンバーが中心となり、実行委員会が結成され「新宿ともしび出前うたごえ喫茶イン大館」を企画。県の「元気なふるさと秋田づくり活動支援事業(元気あきた資金)」のイベント等開催支援の助成を受けました。

審査会や一般から入場料が高いという声があり、集客が心配されましたが、多くの人に歌声の喜びを味わっ



て欲しいとあちこちに足を運ぶメンバーの思いが伝わり完売となりました。

イベント当日は30度を越える真夏日の中、会場には観客が約300人集まり、歌に合わせて手拍子やリズムに乗せて体を動かすなど思い思いに歌い、会場が一体となり、最後は輪になって歌う楽しさを分かち合いました。

うたごえ喫茶イン大館実行委員会

☎事務局 TEL.0186-42-5577(畑沢)

○大館市○

上原敏歌謡ショー

日時: 7月29日(水)10:00より

会場: 大館市民体育館(大館市桂城公園内)

参加費: 無料

☎大館上原敏の会事務局 TEL.0186-42-3730 (副会長/庄司)

○北秋田市○

森吉山麓 ふるさとサマーキャンプ2009

◆こぐまと遊ぼう!内陸線に乗ろう!またぎさんに聞こう!

日時: 8月1日(土)

◆ブナの森で遊ぼう!森の野鳥や生き物探し!ブナの木を植えよう!

日時: 8月2日(日)

◆カヌーで湖を探検!天然のウォータースライダー遊び!温泉にはいろいろ!

日時: 8月3日(月)

◆新鮮野菜の収穫!ダッジオープンでお料理!畑仕事のお手伝い!

日時: 8月4日(火)

会場: 秋田県北秋田市 県立奥森吉青少年野外活動基地 他

対象: 小学1~6年生(秋田県在住、または秋田県出身の子弟及び知人)

定員: 各日30名(先着順定員になり次第締切、7月25日まで)

費用: 日帰り3,500円、1泊2日9,500円、2泊3日15,000円、3泊4日20,000円(各プログラム費、昼食付、保険料含む)

※詳しいご案内を後日お送りします。

☎申込: NPO法人冒険の鍵クーン(主催)

TEL.0186-72-3168(9:00~20:00)

FAX.050-7515-6163

○能代市○

のしろまち灯り

~美しいまちづくり木のまちづくり心にも灯りをともそう~

日時: 8月6日(木)14:00~21:00

会場: 能代市

内容: ウッディ動物園&木工教室、ろうそく点灯、秋田スギ屋台コーナー、田楽づくり等

<関連イベント>

◆ろうそくづくり

日時: 7月25日(土)10:00~12:00、13:30~15:00

会場: 能代市子ども館

◆田楽づくり

日時: 7月27日(月)、28日(火)、30日(木)

いずれも10:00~12:00、13:00~15:00

会場: 旧淳城第二小学校施設

申込締切: 7月22日(水)

☎申込: のしろ白神ネットワーク TEL.0186-52-4617 (代表/能登)

○秋田市○

褒めあいワークショップ

日時: 8月8日(土)13:30~16:30

会場: 遊学舎 昭和館2階大広間(秋田市)

内容: 講義、グループ学習、講評。グループで話し合いながら、他人の良さを発見し、そして褒めましょう。うれしい気持ちになりたい方、心地よい癒しを求めたい方、そして自分を好きになりたい方のワークショップです。

定員: 50名(先着順、定員になり次第)

参加費: 1,000円

☎申込: ユーモア話術コンサルタント・日本笑い学会 秋田県幹事 人星亭喜楽駄朗(主催)

TEL.090-5232-8009

メールアドレス: xmwpn686@yahoo.co.jp

○大館市○

ゼロダテ/大館展2009

日時/ 8月12日(水)~16日(日)

会場/ 大館市大町商店街、御成町二丁目商店街ほか

内容/ 商店街の空き店舗、営業店舗で絵画、写真などの美術展、アートキャンプ、里山の自然を体感するアートワークショップ、野外コンサートなど



※運営ボランティア、各企画の参加者を募集中。

㊟ゼロダテ大館展実行委員会 事務局

TEL.090-8923-3307



大館マンドリンクラブ会員募集中!

大館マンドリンクラブの活動は、大館上原敏歌謡ショーの伴奏、大館市芸術文化祭での演奏出演、各施設慰問演奏などを行っています。興味のある方はぜひお問い合わせください。会費は無料です。

㊟大館マンドリンクラブ

TEL.0186-42-3730(代表/庄司)

大館上原敏の会 会員募集中!

大館上原敏の会の活動は、さくら祭り協賛(4月)、上原敏歌謡ショーの開催(4・7・2月)、上原敏流転忌(7月)、大館アメッコ市協賛(2月)など。

年会費1,000円。

㊟大館上原敏の会

TEL.0186-42-3730(副会長/庄司)

あきた新名物メニューコンテスト

地場産食材を使ったメニュー(料理)を広く県民に募集することで、地場産食材や料理に対する関心を高めながら、地場産品の魅力を引き出し新たな秋田の名物メニューとして展開を図り、県内外に県産品とその食べ方をアピールすることを目的とする。

応募部門:【キッズ大好き部門】【あきたどんぶり部門】

表彰:各部門最優秀賞(賞状と副賞5万円分の商品券)ほか

応募締切:8月20日(木)

㊟秋田県農林水産部 秋田の食販売推進課 あきた新名物メニューコンテスト係

TEL.018-860-1763 FAX.018-860-3806

美の国あきたホーム>組織別案内>農林水産部>秋田の食販売推進課

平成21年度「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」募集!

障害の有無にかかわらず、誰もが地域や職場・学校などで共に支え合って暮らす「共生社会」の実現を目指して、障害のある人となない人との心のふれあい体験をつづった「心の輪を広げる体験作文」と、障害のある人に対する国民の理解を広めるための「障害者週間のポスター」を募集します。

募集テーマ:出会い、ふれあい、心の輪～障害のある人となない人との心のふれあい体験を広げよう～

応募資格:秋田県内の小学生以上(特別支援学校の小学部、中学部及び高等部の児童生徒を含む)

応募締切:9月3日(木)必着

㊟秋田県健康福祉部障害福祉課

TEL.018-860-1331 FAX.018-860-3866

美の国あきたホーム>便利ツール>募集情報>健康・福祉

第13回「こども未来賞」エッセー募集

あなたの子育てにまつわる様々なエピソードをつづったエッセーを募集します。育児で味わう苦しさを超えた充実感、感動や喜び、子どもとの生活で感じたこと考えたこと、育児を支えてくれた人たちとのエピソードなど、様々な育児体験をエッセーとしてつづってください。

応募資格:どなたでも応募できます。

表彰:こども未来財団賞1編(賞状、楯と賞金30万円)ほか

応募締切:9月3日(木)必着

㊟財団法人こども未来財団 事業振興部「こども未来賞」H係

TEL.03-6402-4823 FAX.03-6402-4830

<http://www.kodomomir aizaidan.or.jp/miraisyo/kobo13-21.html>

情報 あらかると

募集

第15回「NHKハート展」障害のある方がつづいた詩を募集

ハート展の詩にむずかしい形式はありません。こころの奥底からわいてきたコトバ。誰かにつたえたいコトバ。飾らないコトバでいいのです。

応募対象:障害のある方。年齢は問いません。

入選:50編を選び入賞とします。

応募締切:9月7日(月)必着

㊤NHK厚生文化事業団「NHKハート展」係

TEL.03-3476-5955 FAX.03-3476-5956

http://www.nhk.or.jp/heart-pj/art/heart/poemform/youkou_poem.html

木の実をつかってお菓子を作ろう!

おかしの森「創作菓子コンテスト2009」作品大募集!

長野県小海町の美しい森を舞台に実のなる森づくり、森と暮らしを結ぶ様々な活動を進めています。今回は、森の恵みに感謝する気持ちを身近に感じていただくために、「創作菓子コンテスト」を開催します。

応募テーマ:「木の实」が原材料として用いられているお菓子
応募資格:どなたでも参加できます。(家族やグループでも可)、アマチュアの方

表彰:森のおかし大賞(1名10万円)ほか

応募締切:9月10日(木)当日消印有効

㊤特定非営利活動法人 地球緑化センター内 「創作菓子コンテスト」事務局(担当/加藤・坂本)

TEL.03-3241-6450 FAX.03-3241-7629

<http://www.n-gec.org/topics/2009/06/post-21.html>

平成21年度・第3回かめのり賞

交換留学、文化・スポーツの青少年交流、語学教育など、日本とアジア・オセアニアの相互理解の増進に草の根で貢献している方々の活動を顕彰し、支援します。

応募対象:日本とアジア・オセアニアの国際相互理解の増進に草の根で貢献しているNPO(非営利団体)、ボランティアグループ、個人。

表彰:10件(正賞の記念の楯および副賞50万円の活動奨励金)

応募締切:8月17日(月)~9月15日(火) 必着

㊤財団法人かめのり財団 「かめのり賞」係

TEL.03-3234-1694 FAX.03-3234-1603

<http://www.kamenori.jp/>

助成金

元気なふるさと秋田づくり活動支援事業【元気あきた資金】

◇イベント等開催支援

助成対象経費:会場使用料、パンフレット等作成費、通信運搬費、イベント用設備費、消耗品ほか

助成金額:限度額800,000円(事業費の1/3以内)

◇講演会・学習会等開催支援

助成対象経費:講師謝礼金、講師旅費、資料作成費、会場使用料ほか

助成金額:限度額200,000円(事業費の4/5以内)

申請条件:県民や地域住民の自主・自立した地域づくりに関する取り組みや活動が対象

申請期間:8月3日(月)~9月1日(火)

㊤鹿角地域振興局地域企画課 TEL.0186-22-0456

北秋田地域振興局地域企画課 TEL.0186-62-1251

山本地域振興局地域企画課 TEL.0185-52-6285

~障害のある人たちの創作活動を支援する~ 「エイブル・アート・アワード」

エイブル・アート・ジャパンでは、障害のある人たちの芸術活動を支援するため、作家の発掘、作品発表機会の提供、サポーターの育成、著作権や所有権に関する整備、そして多様な表現が受容される社会の仕組み作りなどに、さまざまな角度からアプローチしています。

【制作支援の部】

助成対象:障害のある人たちの絵画や立体造形などの創作活動を行っているグループ。※障害のある人たち

だけのグループである必要はありません。

助成金額:総額50万円。1件あたり10万円の支援金を5グループ

【展覧会支援の部】

助成対象:障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている作家。個人、グループを問いません。

支援内容:1個人または1グループの展覧会を開催

応募締切:8月31日(月)

㊤エイブル・アート・ジャパン 担当:太田

TEL.03-3364-2140 FAX.03-3364-5602

<http://www.ableart.org/>

第16回(平成21年度)ボランティア活動等助成

助成対象:ボランティア活動を目的とした団体・グループ。特に在宅老人、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動。学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。(申込みに際しては、社会福祉協議会・共同募金会等の推薦を受けてください。)

助成金額:上限30万円(総額5,000万円)

応募締切:8月1日(土)～9月15日(火)当日消印有効

㊤財団法人 大和証券福祉財団 事務局

TEL.03-5555-4640 FAX.03-5202-2014

<http://www.daiwa-grp.jp/branding/citizen/support/dsf/outline.html>

平成21年度チャリティプレート助成金

助成対象:障害者(重複を含む、以下同じ)が通う小規模作業所、アクティビティ・センター(自立生活センター、グループホーム)などで、特に緊急性が明確である団体(法人である必要はない)に、設備・備品・車両の助成を行う。

助成金額:50万円限度。

応募締切:8月31日(月)必着

㊤特定非営利活動法人日本チャリティプレート協会 総務課 須藤

㊤TEL.03-3381-4071 FAX.03-3381-2289

<http://www.jcpa.net/jcpa/joseikin/index.htm>

未来遺産運動

日本ユネスコ協会連盟は、未来に伝えたい地域の文化・自然遺産を守る市民の活動を「プロジェクト未来

遺産」として登録し、それを推進する地域を日本全体で応援する仕組みをつくります。

助成対象:原則として2年以上の活動実績があり地域の人々が主体となって運営している非営利団体

助成金額:総額500万円程度を10プロジェクトへ助成

応募締切:8月31日(月)必着

㊤未来遺産運動事務局

TEL.03-5424-1121 FAX.03-5424-1126

<http://www.unesco-mirai.jp/index.html>

青パト配備事業助成金

日本財団では、地域における防犯活動の活性化を受けて、青パトを用いた防犯活動を行っている団体への助成制度を設けました。この制度において、防犯活動だけでなく、青パトを中心に、街づくりや地域の再活性化、青少年の健全育成等ががんばっている団体に対して車両の購入費の助成を行います。

助成対象:平成21年4月1日現在、「青色回転灯を自動車に装着して適性に自主防犯パトロールを実施することができる団体であることの証明書」を所持している、NPO法人およびボランティア団体。

助成金限:上限130万円。募集台数30台

応募締切:第2回、平成21年8月31日(月)消印有効

第3回、平成22年1月31日(日)消印有効※決定次第、受付を終了します。

㊤日本財団 公益・ボランティア支援グループ 公益チーム

TEL.03-6229-5161 FAX.03-6229-5160

http://www.nippon-foundation.or.jp/kyotu_site/zyoseikin/policecar.html

子どもの本100冊助成募集

助成対象:子ども達の読書啓発・指導をされているボランティア団体または個人。応募者の活動歴は問いませんが、更なる活動が期待できることとします。

助成内容:当財団が選書した、学年別「100冊児童書セット」のうち、学年別3つの図書セットのうち1セット(20万円相当)で45件。

㊤社団法人 読書推進運動協議会

TEL.03-3260-3071 FAX.03-5229-1560

http://www.itc-zaidan.or.jp/zaidan_bunko_bosyuu-gaiyou.htm

主婦が協力し合い 工房をオープン



岸さん(左)、小笠原さん(中央)、佐藤さん(右)

北秋田市合川に比内地鶏の卵を使った、手作りシフォンケーキの工房「たまごの杜」が、平成20年10月にオープンしました。「たまごの杜」を立ち上げたのは、合川北地区に住む加藤由美子さん、佐藤淳子さん、小笠原勝子さんの3人です。

代表の加藤さんは比内地鶏の飼育農家で、供給にバラつきのある一般に出荷されない卵を活用したお菓子作りをしていました。ある時、同年代の子どもがいる佐藤さんがシフォンケーキを試食。そのおいしさに刺激されて、二人で試作に取り組みはじめました。そのうち、試食した知人から口コミで広がり、注文が入るようになったため、顔見知りで調理師の資格を持つ小笠原さんとともに工房を立ち上げたのです。

「たまごの杜」は、閉鎖されていた市の施設「大野台ハイランドハウス」内を借りることができたため、設備投資が業務用オープンのみで済みました。

現在は、加藤さんが本業の花苗作りに専念しているため、

佐藤さん・小笠原さんとパン作り教室で知り合ったという岸恵子さんの3人で、お互いの得意なことを活かし協力し合いながら工房を支えています。これからも地元のおいしい食材を使用したオリジナルケーキを広めていきたいと話してくださいました。

「たまごの杜」のシフォンケーキは、「味が濃厚で腰が強く、ふくらみが良い」という比内地鶏の卵を多めに使っていることや、季節にあわせた限定品が魅力です。イチゴ・たまご・ひき茶の3色入りの春シフォン(3～5月限定)、アーモンド入りのコーヒーシフォン(6～7月限定)は大好評で、現在は夏に向けての限定品を開発中。定番は、たまごシフォン、バナナシフォン、マーブルシフォン、ひき茶シフォンには、小笠原さんの手作り小豆が入っています。

ケーキのお求めは、合川駅直売所花野菜(火・土、8:00～14:00頃)、セカンドライフみちくさ(金・土・日9:30～16:30 12月～3月は休業)、福助堂(北秋田市役所向かい)、工房「たまごの杜」。取り扱っていただけるお店を探しています。

たまごの杜

TEL/FAX.0186-78-3105 (8:00～14:00※午前中は作業中のため電話に出られない場合があります。)
(定休日:水・日)



イベント・活動情報など掲載記事を募集しています。お気軽にご連絡ください。



市民活動情報ネット

秋田県の市民活動団体が登録されています。関連情報も満載です。ぜひ、ご活用ください！
<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

〈編集後記〉

工房は、食材の有効活用、手作りの安全安心のお菓子、雇用の場であり、趣味を活かせる場となっています。挑戦を続ける同年代の彼女たちにパワーをいただきました。オリジナルの限定品が楽しみです。

北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。

北部市民活動サポートセンター

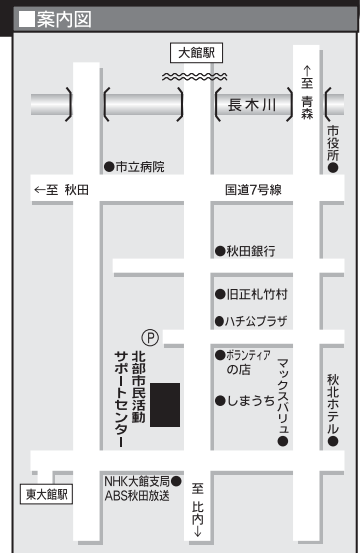
(北部男女共同参画センター内)

活動団体を応援!

- ◆打ち合わせ・会議スペース
- ◆コピー機・印刷機の活用
- ◆インターネット、掲示板の活用
- ◆図書・関係資料

※利用の際、団体登録が必要になる場合があります。また、利用内容によって料金がかかりますので、詳しくはお問い合わせください。

〒017-0841
秋田県大館市字大町57
TEL.0186-49-8553
FAX.0186-49-8589
<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>
E-mail angec1@io.ocn.ne.jp



この印刷物は1,500部作成し、印刷経費は1部当たり31.2円です。